

# AZCA デジタルトランスフォーメーション(DX) プログラムのご紹介

---

2021年3月

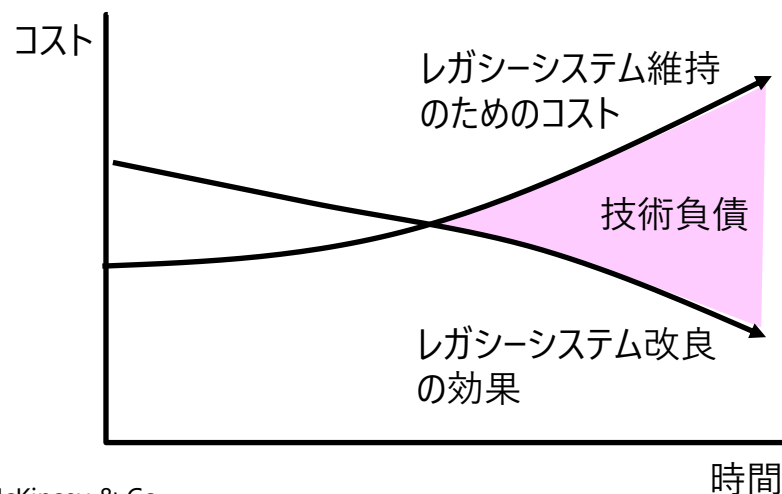
AZCA, Inc.

# 背景

日本企業はこれまで、パッチワークによる僅かずつの改善によってレガシーシステムを維持してきており、これが「技術負債」を引き起こしていることはよく知られるところです。経済産業省は「2025年の崖（2025 Digital Cliff）」に警鐘を鳴らしており、日本がDXの達成に失敗すると、2025年以降2030年まで年間最大12兆円の経済的損失を被る可能性があるとしています。

## 「技術負債」と「2025年の崖」

- 今日、ミッションクリティカルなシステムの20%は20年以上前のものである。これは2025年までに60%に増加する。
- 2015年には、日本のITスペシャリストは17万人不足していた。2025年までに、このギャップは43万人に増加する。
- 今後数年間で、2020年のWindows 7や2025年の重要なSAP ERPなど、重要なシステムがサポート期間の終わりに達する見込み。
- 並行して、2020年の5Gモバイルや自動運転車などの主要な新技術が市場に参入し、デジタルクリフをさらに加速する。



2025年



AZCAではビジネスモデル変革を含む企業の成長戦略構築のコンサルティングプロジェクトを多く手掛けていますが、どの企業でもDXは今後の成長のための大きな課題となっています。デジタルトランスフォーメーション（DX）の定義は組織により様々ですが、AZCAでは最も簡潔な形でDXを定義し、採用しています。また、AZCAは、企業の活動の6つの側面を通じてDXの進捗度を評価するフレームワークを定め、使用しています。

### DXの定義とDX進捗度評価のための6つの次元

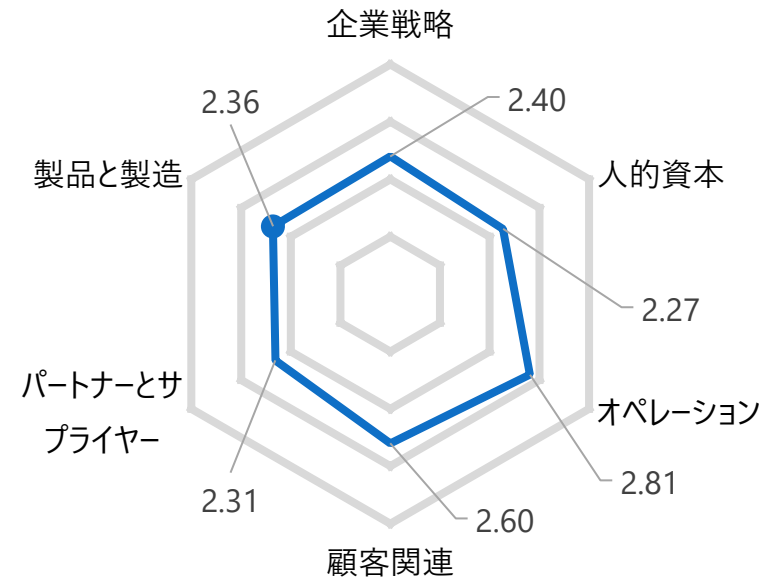
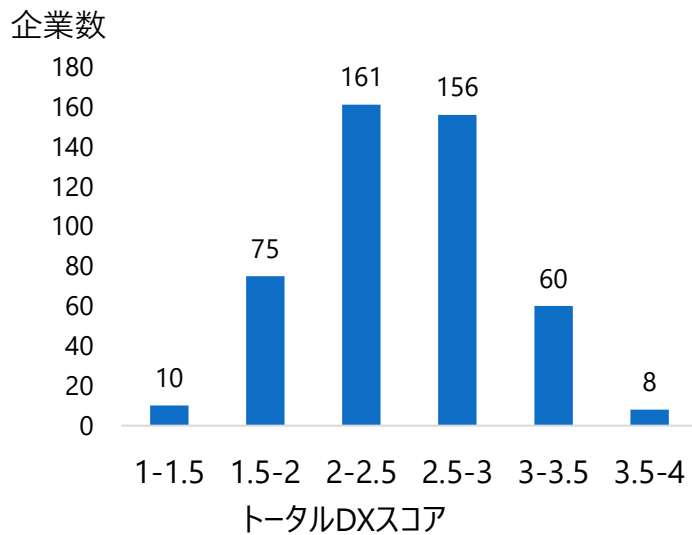
#### AZCAによる デジタルトランスフォーメーション（DX）の定義

「データとデジタル技術の統合的な活用により、社内および社外の両方でビジネスを効果的かつ効率的に進め、ビジネスモデルの変革も含め顧客価値を創出することにより競合優位性を高めるプロセス」

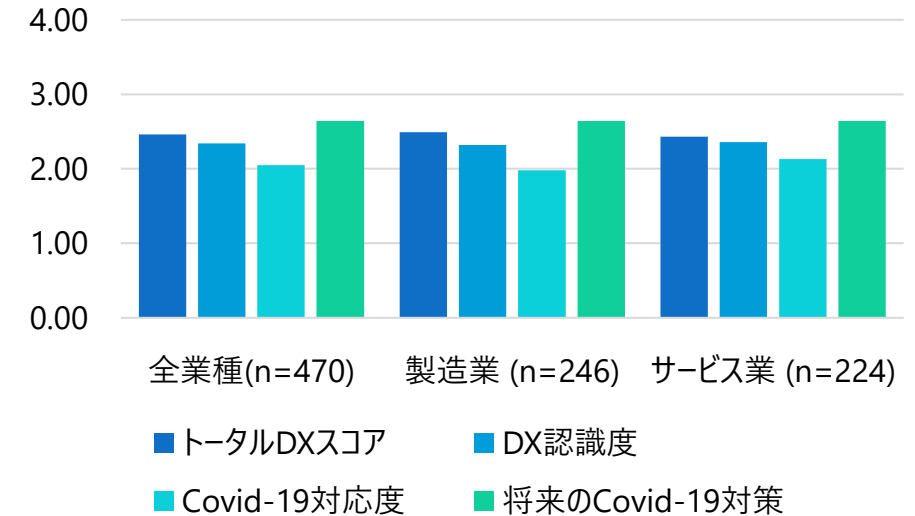


AZCAでは日本企業のDX進捗度を正確に理解するために2020年9月に日本能率協会（JMA Garage）と共同でオンラインによるアンケート調査「DX SURVEY IN JAPAN 2020」を行ないましたが（470社からの有効回答）、この結果、日本企業の多くが「2025年のデジタルクリフ」への備えが出来ていないことが明らかになりました。

## 主な調査結果



2025年デジタルクリフへの備え

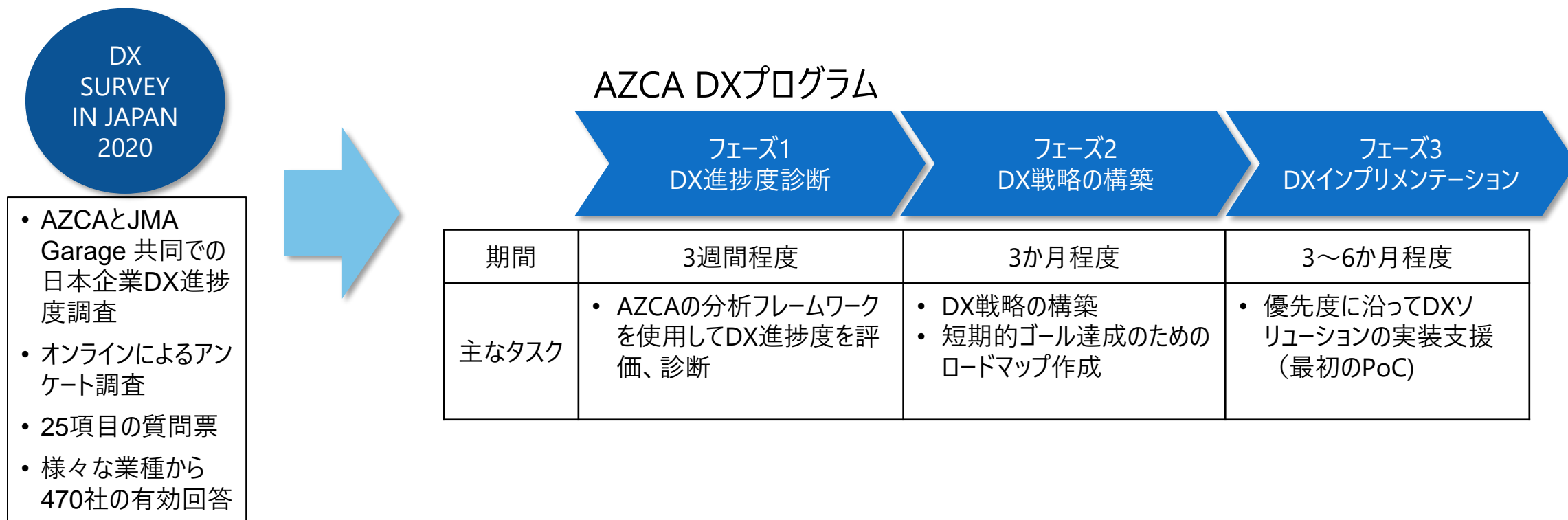


注： DXスコアは1.00（最低）から4.00（最高）の間で評価

# AZCA DXプログラム

オンラインアンケート調査の分析結果とAZCA独自のフレームワークを活用し、AZCAは実行可能なDX戦略の構築から効果的なインプリメンテーションまでの支援を個々の企業に対して「AZCA DXプログラム」という形で提供します。

## AZCA DXプログラム概要



- AZCAとJMA Garage 共同での日本企業DX進捗度調査
- オンラインによるアンケート調査
- 25項目の質問票
- 様々な業種から470社の有効回答

# フェーズ1: DX進捗度診断

AZCA DXプログラムのフェーズ1は3週間程度のプロジェクトで御社のDX進捗の状況を正確に把握し、評価します。

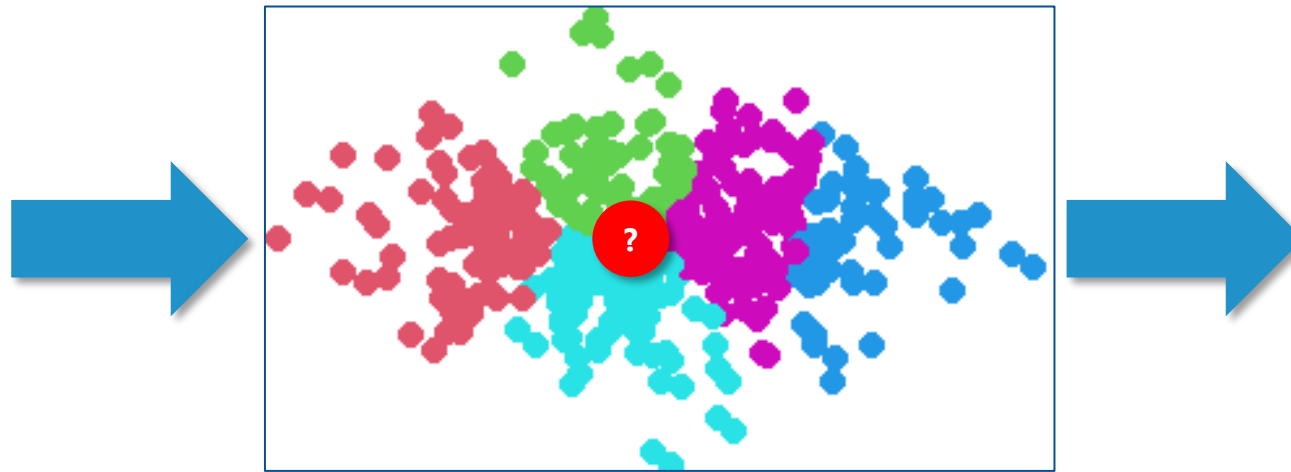
## フェーズ1の概要（3週間程度）

目的	検討内容	方法	成果物
<ul style="list-style-type: none"><li>御社のDX導入状況と進捗度の把握</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>御社のDX進捗度の評価</li><li>DX進捗度の評価に基づき、DX導入における課題とボトルネック</li><li>DX導入において最も有効な領域や優先領域</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>社内インタビュー<ul style="list-style-type: none"><li>社長および経営層</li><li>研究開発部門</li><li>製造部門（購買、在庫管理含む）</li><li>事業部門（マーケティング、販売含む）</li><li>情報システム部門</li><li>人事部門</li></ul></li><li>可能な範囲で社外インタビュー<ul style="list-style-type: none"><li>顧客</li><li>サプライヤーやその他のパートナー</li></ul></li><li>AZCAの分析フレームワークを使用してインタビュー結果からDX進捗度をAZAの評価指標に従って評価、診断</li><li>戦略、人材、オペレーション、IT/OTシステム、顧客やサプライヤーとの関係などの俯瞰的な「DXオポチュニティ・マップ」を作成</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>DX進捗度に関する詳細な報告</li><li>DXにより生み出したい価値の確認</li><li>業界における御社の立ち位置、同業他社との比較</li><li>DX導入におけるボトルネック、課題</li><li>DX導入における有効な領域の特定</li></ul>

AZCA独自の分析手法により御社のDX進捗度の詳しい評価を行ない、日本における産業全体、御社の業界における同業他社と比べた立ち位置などを明らかにしていきます。

### フェーズ1での分析（例）

- 御社のトップ、各部門、顧客など社外へのインタビュー結果
- AZCAの評価指標を用いて得られた評価（スコア）



AZCA独自の分析手法

- 日本産業全体および業界における御社の立ち位置

# フェーズ2: DX戦略の構築

AZCA DXプログラムのフェーズ2では、フェーズ1の結果とAZCAの独自の手法により、3か月程度のプロジェクトによりDXのゴール設定と戦略の構築を行ないます。

## フェーズ2の概要（3か月程度）

目的	検討内容	方法	成果物
<ul style="list-style-type: none"><li>御社のDX戦略の構築</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>企業成長の長期的ビジョンとDX導入により生み出される価値</li><li>DX導入の目標<ul style="list-style-type: none"><li>- 短期</li><li>- 中長期</li></ul></li><li>DX導入の具体的な施策<ul style="list-style-type: none"><li>- 短期</li><li>- 中長期</li></ul></li><li>変革の分野<ul style="list-style-type: none"><li>- ビジネスモデル</li><li>- 組織・人材</li><li>- オペレーション</li><li>- IT/OTシステム</li></ul></li><li>同業他社の状況</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>社長、経営層とのディスカッション、ワークショップ</li><li>IT/OT資産の棚卸、仕分け<ul style="list-style-type: none"><li>- データ</li><li>- IT/OTシステム</li><li>- オペレーションごとのデータのライフサイクル（収集、保管、廃棄）の調査</li></ul></li><li>DX導入の優先度についてのチームディスカッション、最初のPoCの特定</li><li>同業他社のベンチマーク、成功事例の調査</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>企業成長の長期的ビジョンとDXにより生み出したい価値(DXのゴール)</li><li>経営層のマインドセット、企業のデジタルカルチャー</li><li>組織の再構築</li><li>人材育成プログラム</li><li>短期的なゴールと最初のPoCの定義、オペレーションの再構築</li><li>デジタル技術導入計画（mobile, IoT, digital twins, robot, cloud, AI/ML, VR/AR, 3D印刷など）</li><li>短期的なゴール達成のための実施ロードマップを含む報告書</li></ul>



# フェーズ3: DXインプリメンテーション

AZCA DXプログラムでは、DXインプリメンテーションが軌道に乗るまで、最初の3～6か月程度、ハンズオンで優先度の最も高い短期ゴール達成のためのプロジェクトを支援します。このフェーズは場合によってはAZCA提携先のDXIA社と共同で進めることがあります。

## フェーズ3の概要（3～6か月程度）

目的	活動内容	方法	成果物
<ul style="list-style-type: none"><li>合意されたDX戦略のインプリメンテーション</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>フェーズ2で提案された短期ゴール達成のための最初のPoC</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>DXソリューションの実装やプロジェクトマネジメントにおいては場合によりDXIA社と共同で進める</li><li>優先度に沿ってDXソリューションの実装支援（最初のPoC）</li><li>一定期間インプリメンテーションをモニター</li><li>短期的ゴールの達成確認</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>最初のPoCの結果検証</li><li>必要に応じて継続的支援</li><li>DX進捗報告書</li></ul>

# AZCA DXプラクティスのメンバー

AZCA DXプラクティスのチームは、コンピューターサイエンス、AI/ML、IoT、インダストリアルエンジニアリング、データサイエンス、マネジメントサイエンスなどの分野での専門知識を持ったメンバーから構成され、企業の戦略課題の解決、デジタル技術の応用など、特にDXを含む企業の成長戦略に関わるコンサルティングの豊富な経験を有しています。

## AZCA DXプラクティスのチームメンバー



石井正純  
マネジングディレクター  
メンロパーク事務所  
mishii@azcainc.com



Serdar UCKUN, MD, Ph.D  
(セルダール・ウチクン)  
パートナー  
ボストン事務所  
uckun@azcainc.com



Asli SENCER, Ph.D  
(アスリ・センジャル)  
プロフェッショナル・アソシエート  
Boğaziçi University, Istanbul  
asencer@azcainc.com



Deborah Siegle  
(デボラ・シーグル)  
シニアコンサルタント  
メンロパーク事務所  
dsiegle@azcainc.com



奥村文隆  
代表パートナー  
東京事務所  
fokumura@azcainc.com



石井正太  
パートナー  
東京事務所  
shota@azcainc.com

AZCAのDXプログラムのフレームワークにより御社のDXプログラムを担当させて頂く場合、AZCA DXプラクティスチームのメンバー以外にも必要に応じて弊社の他のメンバーもプロジェクトに参加する場合があります。